

10
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11

54

617
333

興青調査資料第四六號

昭和十六年五月

山東省の藥用植物

興亞院華北連絡部青島出張所

はしがき

一、本資料は昭和十五年度當所調査計畫、藥劑關係「山東省藥用植物資源調査」の報告なり

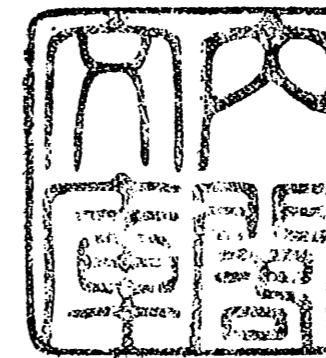
一、京都帝大理學部植物學教室講師理學博士三木茂氏を招聘して昭和十五年八月十九月に行ひたる崂山地帶
小珠山、泰山等の實地踏査、膠濟津浦兩沿線各集散地調査及十月十一月に於ける半島部三港集散地調
査の結果を纏めたるものなり

一、執筆者、三木囑託、矢野囑託

617

333

内閣文庫
九〇九八四号
和書



目 次

一、環 境	二
二、青島の生薬	二
A 市販常備生薬	二
B 生薬の產地	一七
1. 南支及馬來地方	
2. 中支	
3. 山東	
4. 陝西、蒙疆	
5. 滿洲國	
6. 其他地方	
三、省内生薬	一〇
A 生育狀況	一〇
B 生産狀況	三四
1. 山東省藥材生產量	
2. 腹濟、津浦沿線、半島部各地生產量	
(1) 青州	
(2) 泰安縣	

- (3) 鄧縣
 (4) 濟寧地方
 (5) 山東貨にして濟南經山天津に来るもの
 (6) 芝罘地方
 (7) 威海衛地方
 (8) 龍口地方

四、藥材の集散狀況

- A 藥市 四一
 1. 河北省冀州
 2. 濟南府趵突泉
 3. 諸城縣白狼山
 4. 其他地方
- B 藥機 四二
 1. 濟南
 2. 濟寧
 3. 芝罘
- C 需給關係 四三
- D 山東各港輸移出統計表 四六
 むすび

一、環境

山東は黃河沖積地を以て大陸と連絡し嶧山(一、一三〇米)及泰山(一、五四〇米)を盟主とする兩山塊は南北膠河の低地帯を境とし稍々東西に相對す、何れも古期花崗岩より成り平地も黃土に被覆せられず流水は概して清澄なり、又斜面の排水良好にして肥沃なる處は梨、柿、桃等の果樹栽培著し。西境の湖沼は數米に達する水位の變化あり且濁水よりなるを以て多くは有

用生植物たるオニバス、ハス、ヒシ等の繁茂に適せず、環海は遠淺にして清澄なるを以てテンクサ等生育するもワカメ、コ

ンブ等は自然的分布なきもの、如し。

氣温は中支より北方へ漸減するに對し雨量は激減す、(第一表参照)従ひて中支以南に分布する竹、トウビランヂ(Silene Fortunei Vis.)オニバネム(Albizia Kalkora Prain)、マルバツュクサ(Commelinia benghalensis L.)等は青島附近にて北風より保護せらる南向きの場所に生育分布の北限をなせり。

但し一般的には半ば乾燥的なる北支の氣候に支配せらるゝを以て耕作物、野生藥用植物共に殆んど北支と同一状況を呈す。

第一表

地名	年降雨量	降雨日數	平均溫度
天 津	五〇九・一一	四四・一	一三・二
芝 畠 島	五七七・八	八三・八	一三・九
	六三一・〇	八〇・一	

濟南	六一五・六	七一一・一	一四・七
北京	一〇六九・〇	一三八・九	一五・一五
上海	一一四七・九	一一一一・三	一五・〇四

11、青島の生薬

A 市販常備生薬

山東に於ける生薬の需給關係を知る手段として青島市内の主なる薬商たる宏仁堂、濟仁堂及萬年春にて常備生薬に就き原植物、單價、消費量、藥効並に產地等を調査せる結果は第二表の如し、

註、配列は Engler, Diels 兩氏の自然分類綱要に従へり、

單價は一兩即ち一〇匁の價を錢にて表示せり、

消費量は一軒の年販賣額にして斤を以て單位とし、藥効は單一なるもの多きも本調査の目的には非ざるを以てその内主なるもの、みを記せり、產地は店主の申告を尊重せるも明かに誤りと推定せらるゝものは訂正せり、(山東)の如く並記したるは一部山東に生産するを示せり、

第二表

原植物和名、學名、藥効部	單價	消費量	藥効	產地
Polyporus sp. の切片	10 15 40 5 15 14 10 4 8 40 20 50	60 50 100 10 16 6 5 30 20 50 2 40	利尿、強壯	江 西
Lycoperdon pitorne Schaeff			傷口	張家口
アクラカ Hoelen Runge			利尿	雲 南
木狀苦蘂の地下莖			驅風	四川
ユヘナの全草			收敛性洗眼	滿洲
Equisetum hymale L.			下血脫肛	山 東
Selaginella involvens Sp.			鎮咳	山 東
イチウの種子	Ginkgo Biloba L.		滋養、強壯	山 東
コヘラガシバの種仁	"		止血	山 東
ホヤダカの根莖	Biota orientalis L.		利尿	山 東
Alisma Plantago L.			利尿	(山東) 河北
バナヤギの種子	Coix Agrestis Lour.		利尿	浙江
ホヤクサの葉	Lophatherum gracile Brouss.		利尿	

12	香附子	ベニバナの根 <i>Cyperus rotundatus</i> L.	通經利尿	山東
13	楓榔	シロウジの種子 <i>Areca catechu</i> L.	止血	山東
14	半夏	ハナヒメの球茎 <i>Pinellia ternata</i> Breit	去熱	河南
15	菖蒲	ヤギシマウラの地下茎 <i>Acorus gramineus</i> Soland.	鎮驚祛痰	山東
16	天星草	ウラシマツツクサ類の地下球茎 <i>Arisemna</i> Sp.	解熱利尿	山東
17	浮萍	ヤキクナの全草 <i>Spirodela Polyrrhiza</i> Schr.	眼病	浙江
18	穀精草	ボウタナの全草 <i>Eriocaulon Sieboldianum</i> Steud.	驅蟲	山東
19	百部	シヤクナの塊根 <i>Stemona japonica</i> Miq.	滋養強壯	浙江
20	山慈姑	トトロの鱗茎 <i>Tulipa edulis</i> Baker	驅風、去熱	山東
21	草薢(土茯苓)	チノキホトトガ類の根茎 <i>Smilax</i> Sp.	鎮咳、去熱	(山東)
22	貝母	ベニヤハ類の鱗茎 (川貝母) <i>Fritillaria</i> Sp. (浙貝母)	”	浙江
23	麥門冬	リゴウノヘビダの根 <i>Ophiopogon japonicus</i> Ker.	鎮咳、去熱	山東
24	百合	リラの鱗茎 <i>Lilium lancifolium</i> Thunb.	滋養強壯	山東
25	天門冬	クサスギカツラの根 <i>Asparagus Lucidus</i> Lindl.	利尿、強壯	浙江
26	蘆薈	アロエ類の津液 <i>Aloe</i> Sp.	下劑	國外
27	黃耆	テルハニラの根 <i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray	鎮咳、去熱	浙江
28	(懷)山藥	ヤマヘイヤの根 <i>Discorea japonica</i> Thunb.	滋養強壯	(山東)
29	(藏紅花)	チトハノハナの鱗茎 <i>Crocus sativus</i> L.	利尿、強壯	山東
30	乾薑	シヤウガの根 <i>Zingiber officinale</i> Rost.	活血	山西
31	石葷	ヨウコクの薑 <i>Dendrobium monile</i> Kranzl.	強壯	河南(山西)
32	霜桑白	タソの内皮 ”秋葵	祛痰	山東
	葉皮	Horus alba L.	利尿	四川
1	25	13 100	10 25 6000	60 30 65 65 10 40
100	150	30 20	5 10 1	150 2 0.1 30 10 50

33	真寄生	山東	利尿 發汗、祛痰	滿洲國
34	細辛	黃軍	利尿	(山西)
35	馬兜鈴	黃軍	緩下劑	山西
36	川大黃	黃軍	健胃	四川
37	馬齒莧	草	利尿	
38	鴉冠花	花	利尿	
39	青葙子	子	利尿	
40	商陸	子	利尿	
41	瞿麥	子	利尿	
42	王不留行	實	利尿	
43	芡實	子	利尿	
44	荷葉	葉	利尿	
45	荷子	子	利尿	
46	牡丹皮	皮	利尿	
47	黃連	根	利尿	
48	威靈仙	根	利尿	
49	升麻	根	利尿	
50	淫羊藿	根	利尿	
51	大茴香	根	利尿	
52	豆蔻	根	利尿	
53	夷衷	根	利尿	

ダイカウの根莖
"Rheum Officinale Baillou
"チャナギの全草
"Polygonum aviculare L.
カベイカウの花
Celosia cristata L.
カベイカウの根
Physalis acutifolia Roxb.
カクハナトリシニア全草
Dianthus superbus L.
カクシトリカヨの種
Silene apica Turcz.
ホリゾンセレン
Euryale ferox Salish.

20 10 1 10 35 1 40 50 10 10 30

20 10 1 100 5 3 100 700 50 5 30 5

強壯 利尿 白帶 利尿 利尿

強壯 利尿 去熱 強壯 利尿

江蘇 山東 山東 山東 山東

(6)

ババの葉
ババの葉柄
ババの胚芽
Nelumbo nucifera Gaertn.
シヤクヤクの根
Paonia albaflora Pall.
ボタノの根皮
Paonia suffruticosa Andl.
コウノンの根莖
Copris Japonica Mak.
ホババの根
Clematis hexapetala Palas
クサボタノの根(三東)
Clematis beracifolia Dc.
イカラナウの葉
Epimedium macranthum Met D.
カヤセリカウの根(山東)
Menspermum dahuricum Dc.
ヒヤウスツメガサ
Miltium verum Hook
マグノリア花被
Magnolia kobus Dc.

20 10 6 10 20 5 10 150 100 30 40 12 60 2 2
5 5 10 5 5 10 5 20 100 50 80 400 5 40 50
驅風 利尿 补精 去風 健胃 強壯 " 去熱 去熱
驅風 利尿 去風 去風 健胃 強壯 " 去熱 去熱
四川 廣東 山東 四川 山東 浙江 濟南 濟南 濟南
四川 廣東 山東 山東 山東 浙江 濟南 濟南 濟南

(7)

76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54
地 甘 丁	甘 草	扁 皂 豆	大 (肥 皂 子)	皂刺 と 牙皂 子	黃 豆	綠 豆	葛 皮	槐 根	槐 花	苦 參	桃 仁	杏 仁	(苦)	木 山	山 地	白 菜	草 薑	墨 子	栗 子	杜 仲	厚 模	

5	4	20	8	35	4	5	4	5	3	12	15	10	40	5	10	10	10	6	8	10	30	500
20	20	1	10	200	10	10	10	30	100	50	10	100	10	50	5	10	20	5	2	30	5	

ヨクノコ類の樹皮
Magnolia officinalis Reb. et Wil.

トナウの樹皮
Eucosma ulmoides Oliv.

ムシロの葉
Papaver somniferum L.

ニメダハシイカシナの種子
Lepidium Micranthum Ledeb.

タマゴの種子
Raphanus Sativus L.

オホザハギの種子
Brassica oleracea Thunb.

フンザカウの根
Crataegus pinnatifida Bge.

クソラバの果實
Sanguisorba officinalis L.

オホザハギの果實
Pseudocydonia sinensis Sch.

トトロの種子
Prunus Armeniaca L. var. Auzu Max

ヒナバウメの種子
Prunus humilis Bge

ツルシキセキの種子
Prunus persica Set Z.

散風	緩下矯味	去熱	殺虫	利尿、解毒	發汗、解熱	止血	痔疾	健胃、驅蟲	鎮咳、祛痰	利尿	鎮咳	止咳血	肺病、散風	去熱、消化	利尿	鎮咳	健胃、祛痰	鎮咳	順氣	強壯	去食毒
山東	蒙古	山東	湖南	山東	滿洲	山東	山東	山東	福建	山東	山東	山東	山東	山東	山東	山東	山東	山東	山東	山東	四川

清寧山にはイヌガニキ Gueldenstedia multiflora Bge. を示せり。

Pseuderanthemum cordifolium L. の種子。

支那の他地方と同様にてての種子。

Linum usitatissimum L.

シナリオノ果實。

Tribulus terrestris L.

キベタ

Phellodendron amurense Rupr.

シカノの果皮

Citrus aurantiifolia L. var.

アーモンドの果實。

Citrus medica L. subsp. *digitata* Risso

キンニコ果實。

Poncirus trifoliate Raf.

アーモンドの種子。

Ailanthus glandulosa Desf.

アーモンドの果實。

Polygala tenuifolia Wild

クモロ

Croton tiglium L.

クモロ類の果實。

Rhus Roxburghii Dc.

カヤノイ類の樹皮。

Pistacia lentiscus L.

ヤボウツノヒキの種子。

Zizyphus vulgaris Lam. var. *spinosa* Bge.

Sterculia scaphigera Wall の種子

Hydrocarpus Kurzii King の種子

Daphne Genkwa Set Z.

Aquilaria Agallocha Roxb.

Terminalia chebula Retz の種子

シナノイ果實。

Quisqualis indica L.

チヤウラの花蕾。

Eugenia caryophylla Thunb.

シナノイの花蕾。

Panax Ginseng A. Mey.

シナノイ根皮。

Acanthopanax spinosum Miq.

Sler divaricatum B. et H.

廣東

山東

山西

山東

山西

山東

10 20 30 40 50 60 80 100 20 5 10

利尿、健胃、散風、祛痰、利尿、健胃、散風、

利尿、健胃、散風、祛痰、利尿、健胃、散風、

利尿、健胃、散風、祛痰、利尿、健胃、散風、

(10)

100 藥	當	川	尚	101 師	本	散風	強壯
カナエチギ草 <i>Nothosyrmnium japonicum</i> Miq.	ニウキの根 <i>Ligusticum walloba</i> S. et Z.	シヤキツラの果實 <i>Foeniculum vulgare</i> Gaertn.	セノキツラの根 <i>Cnidium officinale</i> L.	アソヒシモジ <i>Anthriscus silvestris</i> Hoffm.	ハヤシタラの種子 <i>Cnidium monnierii</i> L.	ミヤクモジ <i>Bupleurum falcatum</i> L.	マリヤ解熱 マラリヤ解熱
102 香	芭	香	芭	103 川	當	散風	健胃、祛痰
104 前	胡	芭	芭	105 蛇	床	"	"
106 柴	胡	子	芭	107 白	胡	鎮咳、祛痰	強壯
108 山	白	子	芭	109 女	山	去風	散風
110 連	柴	芭	芭	111 密	山	強壯	強壯
112 龍膽草	白	芭	芭	113 絡石(藤)	女	強壯	健胃、祛痰
114 何首烏	芭	芭	芭	115 牽牛子	貞子	去熱	散風
116 蓬子	芭	芭	芭	117 紫草(根)	山	河南	四川
118 黃荊子	芭	芭	芭	119 常山	山	浙江	陝西
120 丹参	芭	芭	芭	121 蔷薇	山	蘇	四川

111 密蒙花	112 龍膽草	113 絡石(藤)	114 何首烏	115 牽牛子	116 蓬子	117 紫草(根)	118 黃荊子	119 常山	120 丹参
ハサウエギ類の花葉 <i>Buddleia officinalis</i> Max.									
リハニウの根 <i>Gentiana scabra</i> Bge.									
ルヤカカドラの花葉 <i>Trachelospermum divaricatum</i> K. Schum.									
三葉豆セイモジの花葉 <i>Cynanchum Wilfordii</i> Hemsl.									
アキガホの種子 <i>Pharbitis nil</i> Choisy									
コサゲバナの根 <i>Cuscuta chinensis</i> Lam.									
リトキギの根 <i>Lithospermum officinale</i> L.									
Dichroa febrifuga Lour.									
海老花の根 <i>Clerodendron</i> sp. の花葉									
ベニバナの根 <i>Vitex rotundifolia</i> L.									
コガネバナの根 <i>Scutellaria baicalensis</i> Georg.									
Salvia mithorrhiza Bge.									

122	續	利尿	活血	(山東)
123	枯	發汗、驅風	"	山東
124	荊芥	健胃	"	福建
125	紫蘇	去風	"	山東
126	澤蘭(葉)	補精	"	山東
127	益母草	強壯	"	山東
128	地骨皮	喘息	"	山東
129	(大)洋金花	補精	"	山東
130	(大)玄參	強壯	"	山東
131	黃	利尿	"	山東

ケイガヘの根
Nepeta japonica Max.

シノネの葉
シノネ
シノネの葉
Perilla frutescens Britt.
シノネの葉
Lycopus lucidus Turcz
ベニバナの全草
Leonurus sibiricus L.
クニコ根皮
Lycium chinensis Mill
トウセイノアヤガホの花
Datura alba Nees
スコポラリア・カクドウの花
Scrophularia kakuensis Fr.
モッカの根
Rehmania glutinosa Lib.

シキミ科の全草
Siphonostegia chinensis Benth.
萬葉に記述されるダイタケサの全草
Incarvillea sinensis Lam.
萬葉に記述されるダイタケサの全草
Speranskia tuberculata Baillou
オホベニの種子
Plantago asiatica L.
クチナシの果實
Gardenia florida L.
カギカツハの小枝
Uncaria rhynchophylla Miq.
ベニカツハの花
Lonicera Japonica Thunb.

ハウセンカラスウリの果實
ハウセンカラスウリ地下莖(天花粉)
Trichosanthus kirilowii Max.
くチヤの果實
Luffa cylindrica Roem
キャミロウの根
Playcodon grandiflorum DC.

10 40 20 30 20 40 8 40 15 16 15 2 8

100 60 10 100 20 150 500 20 100 20 30 100 5

利尿 利尿 利尿 利尿 鎮咳、解熱 鎮靜 鎮靜 解熱 利尿 利尿 利尿

山東 山東 山東 江蘇 山東 山東 山東 山東 山東 山東

141 沙 參
ノベナミ根
Adenophora remotifolia Miq.
ラナセニの根
Xanthium spinosum L.

メナセニの根
Siegesbeckia orientalis L.
Tussilago farfara の花苔
オグルマの花
Inula japonica Thunb.
タンボボ類の葉
Taraxacum sp.

キクの花
Chrysanthemum sinense Sch.
ヒヤモニの根
Arcium lappa
ヒヤモニはヒヤモニモギの葉
Artemisia scoparia W. et K.
ケセウヨモギの葉
Artemisia Lavandulifolia DC.
オケラの地下茎
Attractylodes ovata Thunb.

20 1 8 10 1 10 10 30 4 6 35 1 2 10 40

20 200 40 10 50 30 100 50 20 20 10 40 40 100 60

利尿、解毒	健胃	散風	健胃、祛痰	散風	去風	散風
驅虫	止血、解熱	洗眼	祛痰	解熱	散風	散風
山東	山東	山東	山東	山東	山東	山東
雲南	山東	四川	山東	山東	山東	山東

(18)

142 蒼耳子
稀蔵(草)

シランの根
Aster tataricus L.

20 1 8 10 1 10 10 30 4 6 35 1 2 10 40

20 200 40 10 50 30 100 50 20 20 10 40 40 100 60

鎮咳、祛痰	健胃	散風	健胃、祛痰	散風	去風	散風
山東	山東	山東	山東	山東	山東	山東

(17)

143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153

款冬(花)
旋覆花
(地公丁)英
白菊花
牛蒡子
青蒿
藥艾
蒼朮と白朮

20 1 8 10 1 10 10 30 4 6 35 1 2 10 40

20 200 40 10 50 30 100 50 20 20 10 40 40 100 60

利尿、解毒	健胃	散風	健胃、祛痰	散風	去風	散風
驅虫	止血、解熱	洗眼	祛痰	解熱	散風	散風
山東	山東	山東	山東	山東	山東	山東
雲南	山東	四川	山東	山東	山東	山東

(17)

右第一表に於ける常備生薬の產地は店主の申告を尊重せるもアマナ(山滋姑)、ナルコユリ(黃精)、リンドウ類(龍胆草)等の如く廣中産と稱するも自然分布の上より明かに誤謬と推定せらるゝものに就ては訂正せり、右記一五三種を原產地によ

り
せり、
但し以上は省内の凡てを網羅するものには勿論非ず、例へば濟南、濟寧を調査中外來の木質子(馬來地方産のウリ科の種子)中支の烏梅、山東産の大蘗(アザミ)、枳椇子(ケンボナシの種子)等の生薬ありしを見たり、故に詳細調査するに於ては幾分増加することあるべきも經濟的價値の大なるは少かるべし。

B. 右生薬の產地

1. 南支及馬來地方
2. 中支(浙江、四川)
3. 山東
4. 陝西、蒙冀
5. 滿洲國

6. 其他地方
の六地方に區分して配列すれば次の如し、
註、○印は年五〇斤以上消費するもの、
1. 南支及馬來地方
 2. 中支
 3. 山東
 4. 陝西、蒙疆
 5. 滿洲國
 6. 其他地方
- | 百種
分比數 | 馬來、南支 | 中支 | 山東 | 陝西、蒙疆 | 滿洲國 | 其他地方 |
|-----------|-------|------|------|-------|-----|------|
| 一一〇 | 一·一五 | 三·四七 | 五·七九 | 二·四 | 四·六 | 一·二 |
| 一一〇 | 一一〇 | 一一〇 | 一一〇 | 一一〇 | 一一〇 | 一一〇 |
| 一一〇 | 一一〇 | 一一〇 | 一一〇 | 一一〇 | 一一〇 | 一一〇 |

密蒙花 使君子 丁香 大茴香 沈香 桂榔 伏苓
蜜鈎藤 佛手 大茴香 沈香 桂榔 伏苓
○白芷 絲瓜 常山 肥皂子 玄參 地黃
枳實 常山 前胡 补骨脂 本川芎 大海子
淫羊藿 黃連 肥皂子 薑本 川芎 大海子
石斛 石菖蒲 乾薑 厚朴 红花 地黃
天門冬 淡竹葉 滾蕷 鐵地風 麥冬 紅花
洋金花 車前子 括萎 牛蒡子 千年健 地黃
○白菊花 青蒿 藥艾 沙參 蒲公英 地黃
蒼耳子 稀荳草 茄子 何首烏 蒲公英 地黃
牽牛子 菊絲子 白芥子 益母草 桔梗 蕓根
洋金花 藥根 蔊菜仙人 升麻 杜仲 金銀花
○防遠志 五加皮 條子仁 仁丹 仁丹 金銀花
○山楂 葛根 地酸棗仁 何首烏 桔梗 柴胡
○杏仁 酸棗仁 地丁 仁丹 桔梗 柴胡
槐花 芫荽 丁仁 扁桃 仁丹 桃仁
葛根 芫荽 仁豆 綠豆皮 桃仁 柴胡
芫荽 根豆 眼仁 桃仁 綠豆皮 柴胡
○透骨草 莎草 仁豆 綠豆皮 桃仁 透骨草
○桑白皮 菊苣 仁豆 綠豆皮 桃仁 桑白皮
柏子仁 卷柏 王不留行 豆根 苦參 菊苣
○浮萍草 天南星 蘭根 王不留行 豆根 菊苣
○瞿麥 麦根 番栗殼 地榆 旋覆花
○瞿麥 天南星 番栗殼 地榆 旋覆花
地榆

○防遠志 风 楊柳子 菊子 芫荽 芫荽
○山楂 志 菊子 芫荽 芫荽 芫荽
○杏仁 志 菊子 芫荽 芫荽 芫荽
槐花 志 菊子 芫荽 芫荽 芫荽
葛根 志 菊子 芫荽 芫荽 芫荽
芫荽 志 菊子 芫荽 芫荽 芫荽
○透骨草 菊子 芫荽 芫荽 芫荽 芫荽
○桑白皮 菊子 芫荽 芫荽 芫荽 芫荽
柏子仁 菊子 芫荽 芫荽 芫荽 芫荽
○浮萍草 天南星 菊子 芫荽 芫荽 芫荽
○瞿麥 天南星 菊子 芫荽 芫荽 芫荽
地榆

右の分類の結果を各地方別に百分比を算出せば左の通り
山東產五二%、中支產三二%、上記二地方を除く其他一七%となり、五〇斤以上消費するものは五六種あり、

第三表

百種 分比數	馬來、南支	中支	山東	陝西、蒙疆	滿洲國	其他地方
一一〇	一·一五	三·四七	五·七九	二·四	四·六	一·二
一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇
一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇

三、省内生薬

A. 生育状況

1. 卷柏（萬年松）*Selaginella involvens* Sp. イハヒバ科
イハヒバの全草を煎用して下血脱肛薬とす。
崂山、小珠山等の岩間に多く生育するも需要少きため荷動きは遠くに及ばず。
2. 白果 *Ginkgo biloba* L. イテウ科
イテウの種子にして鎮咳、祛痰、解毒の効ありと云ふ。
山東のイテウも元來南方より移植せるものにして膠縣の王台には直徑一米にも達するものあり、山東産としては泰安縣のもの珍重せらる。
3. 柏子仁と側柏葉 *Bjota orientalis* L. 松柏科
コノテガシハの種仁を柏子仁、枝葉を側柏葉として使用す。
特に柏子仁は滋養強壯薬として、側柏葉は吐血、子宮出血等に止血薬として使用さる。
北支に最も普通なる松柏科の樹木にして特に泰山には巨樹多し、從ひて山東に於ける生産量多く重要な資源の一をなせり、北支に最適の樹種なるを以て薬用のみならず木材資源の見地よりしても大いに栽培を奨励すべきものなり。
4. 澤瀉 *Alisma plantago* L. オモダカ科
オモダカの根を煎用、利尿剤として少からず利用せらる。
5. 香附子 *Cyperus rotundatus* L. スゲ科
ハマスゲの地下茎の肥大部を通經、鎮瀉薬とす。
地下水の低からざる砂地に廣く野生す、山東省には比較的多量の生産を見るも品質は良好ならずと稱せらる、但し濟寧地方に集散されるもの、泰安縣產等は品質良好なりと。
6. 半夏 *Piellia ternata* Breit テンナンセウ科
ハンゲの地下球根にして妊娠の止吐剤に用ぶ。
7. 浮萍草 *Spirodela polyrrhiza* Schreid. ウキクサ科
ウキクサの全草を解熱、利尿剤として使用す。
此のウキクサは廣く分布する水草にして湖沼の多き濟寧地方の藥機に多量保管せらるゝを見たり。
8. 黄精 *Polygonatum falcatum* A. Gray ユリ科
ナルコユリの連軸せる地下茎にして強壯剤として使用す。
9. 山慈姑 *Tulipa edulis* Baker ユリ科
崂山南麓等には野生するも市販のものは浙江附近より供給を受け居るが如し。

- アマナの地下越冬部にして強壯剤として使用す。
芝罘、嶺山等には野生するとの報告あるもその量少く、濟寧地方にも出荷あれど市販のものは浙江（藥行にては前者黃精と共に廣東と稱す）より移入され居るが如し。
10. 土茯苓（英解） *Smilax Sp.* ハリ科
サンキライ属の地下草にして驥徵、去風に利用す。
鵞山附近にセイトウヤマガシハウ (*Smilax nebulii* Grig) 等生育するも市販のものは四川、福建產等を使用す。
11. 百合 *Lilium lancifolium* Thunb. ハリ科
ヨリの鱗茎を祛痰、健胃剤とす。
12. 桑白皮 *Morus alba* L. クソ科
鵞山にもセイトウヨリ (*Lilium tsingtuense* Grig)、コメユリの生育を見るも市販のものは栽培種に負ふものゝ如し。
13. 馬兜鈴 *Aristolochia contorta* Bge. ウマノスズクサ科
マルバノウマノスズクサの果實を利尿剤として使用す。
14. 扁蓄草 *Polygonum aviculare* L. クデ科
ミチヤナギの葉莢を利尿剤として多く使用わる。
15. 商陸 *Phytolacca asinosa* Roxb. ヤマゴバウ科
ヤマゴバウの根にして利尿剤として使用す、その使用量少く省内産にて需要を充し居るものゝ如し。
16. 青葙子 *Celosia argentea* L. ヒュ科
ノゲイトウの種子にして強壯剤として使用す。
17. 鳥冠花 *Celosia cristata* L. ヒュ科
ケイトウの花序を煎服、解熱剤とす。
18. 罂粟 *Dianthus superbus* L. セキチク科
カハラナデシコの花ある全草を利尿剤とす。
19. 王不留行 *Silene aplica* Turcz. セキチク科
各地にて異品を使用する場合多し。
青島に於てはシメケフシグロの種子なるも台灣にてはノボタン (*Melastoma candidum* D. Don) を指示す。
20. 芙實 *Euryale ferox* Salisb. ヒツヂグサ科
オニバスの種子にして強壯剤とす。

天津に於ける調査にて獨山、微山の湖沼地帯より出づるもの溥寧を經由して多量移入せらるゝとの事なりしも彼の地方は水位の變化著しく實際生育するは稀なりと考へらるれば或ひは江蘇地方の原産か、詳しく述べし。

荷葉と蓮實 *Nelumbo nucifera* Gaertn. シウヂグサ科
ハスの葉及葉梗を去熱に、種子の胚(蓮莢、蓮子心)を強壯剤とす。水位の變化二米以内の水濕地には到處生育す、特に水に恵れたる濟南附近は省内の重要な生産地たり。

威靈仙 *Clematis hexapetala* Pallas ウマノアシガタ科
センニンザウ属の植物の根にして散風藥に使用す。

升麻 *Clematis heracleifolia* Dc. ウマノアシガタ科
市販のものは根を縱斷切片となせるものにして鐵管束の走行状況はウマノアシガタ科の特徴を示せり。通稱のショウマの省内に生育せるは目撃せず、又此の升麻は散風藥として前項威靈仙と同様に使用せらるゝ點等よりして崂山等に多きクサボタン (*Clematis heracleifolia* Dc.) の根茎を使用するものゝ如し。

芍藥 *Paeonia albiflora* Pall ツマノアシガタ科

シヤクヤクの根を強壯剤として煎用す、少しく赤味を帶びたるを赤芍と稱し、山東より出づるものはこの赤芍なれど凡て栽培品に供給を仰ぐものゝ如し。

山豆根 *Manispermum dahuricum* Dc. タマツヅラ科

豆根は *Cajanus indicus* を當てる山なるも青島市販生薬の組織を見るに横斷面上に廣き射出隨の存在する状況は恰もオホシヤクヤクの草の切片状の外觀を呈す、之等の生薬は山東産と稱せられ、而してコウモリカヅラは崂山、泰山に多きを以て恐らくこの根を充當するものゝ如し。

地丁 *Corydalis pallida* Pers ケシ科

地丁に對し濟寧にては他の多くの地方と同じく草科のイヌダンダ (*Gaedensia multiflora* Bge.) を指示せるも青島に於ては崂山及泰山等に多きミヤマキケマン (*Corydalis pallida* Pers.) の全草を示せり、何れが効果的なるや俄かに決定し得ざるも使用量少く問題となるが如し。

瞿粟穀 *Papaver somniferum* L. ケシ科

阿片は山東にても栽培せらるゝを以てその副産物たる瞿粟穀も亦多量に產するも使用量少く經濟的價値少し。

茱萸子 *Raphanus sativus* L. 十字科

ダイコンの種子にして健胃、祛痰藥に使用せらるゝも各地に栽培、多產せらるゝを以て經濟的價値に乏し。

白芥子 *Brassica juncea* Thunb. 十字科

カラシナの種子にして藥用に供さるゝは黃色を帶びたる白芥子なれど各地にて容易に得らるゝ栽培植物なるため經濟的價値少し。

地榆 *Sanguisorba officinalis* L. バラ科

ソレモカウの根を收斂劑として使用す。
各地に分布を見る極めて普通の植物にして省内崂山その他の原野に多數生育し荷動きも遠くに及ばず。

山楂 *Crataegus pinnatifida* Bge. バラ科

オホサンザシの果實切片は消化劑として多量に用ひらる。

- 河北、山東の特産にして山東の產量最も多く北支よりの輸移出は青島、芝罘兩港を首とし、半島部及東南部山岳地帶に產量多く、野生、栽培とともにあり青州、安邱兩地の產量も品質良好とする。
- 青州のみにて年產二〇—三〇万斤を滿洲、上海に輸移出し重要な特產品たり。
- 李仁 *Prunus humilis* Bge. バラ科
ヨニハウメの種仁にして利尿劑とす。
- 楊山及沙子口一帶の山地には多數生目するを見たるも使用量少し。
- 杏仁 *Prunus armeniaca* L. var *Anzu* Max. バラ科
アンズの種仁にして杏仁水の原料に使用す。
- 山東省も有名なる產地にして曹州、邱縣、樂陵等濟南以西にその產量多きも藥用としては青州附近及山東半島部のものを珍重す。
- 青州のみにて年移出量七五噸に達す。

- 桃仁 *Prunus persica* Set Z. バラ科
モモの種仁にして鎮咳、解熱藥として使用す。
- 青州には蜜桃と稱し小形の桃を多産しこの副產物たる桃仁は年產約四五噸にも達す。
- 葛根 *Pueraria Thunbergiana* Benth. マメ科
クズの根にして發汗、解熱藥に煎用す、省内各地に分布を見る。
- 皂刺、牙皂 *Gleditschia sinensis* Lam. マメ科
トウサイカチ (*Gleditschia sinensis* Lam.) の刺及莢を祛痰、利尿藥として煎用す。
- 青州附近は生育良好にして莢を移出せし程なりと云ふ、將來街路樹又は日陰樹としての植栽は大いに考究の餘地あるものと信す。
- 青州には蜜桃と稱し小形の桃を多産しこの副產物たる桃仁は年產約四五噸にも達す。
- 綠豆皮 *Phaseolus radiatus* L. マメ科
ヤヘナリの種皮にして利尿及解毒に使用するも使用量少しが如し。
- 農作物なるを以て供給は充分なるが如し。
- 扁豆 *Dolichos lablab* L. マメ科
フヂマメの種子、去熱藥とす、
- 葛參 *Sophora angustifolia* Set Z. マメ科
クララの根にして苦味健胃藥又は蛔蟲驅除藥として煎用す。
- 山野に幾分野生し、青州、泰安縣等にては何れも年二〇〇—五〇〇斤位地方的に採集使用せらるゝ由。
- 槐實と槐花 *Sophora japonica* L. マメ科
エンジュの花は止血に果實は痔疾に煎用す、此の木は日陰樹として北支に普通に植栽せられ山東省にては東南部の村落に多く、傳ふる處によれば漢時代河南より移植したるものなりと云ふ、集散地としては諸城、青州、濟南等を擧げ得べく省内の使用量を充たし、南方に移出せらるる量少からず。
- 胡麻 *Linum usitatissimum* L. アマ科
山東地方に於けるゴマは支那の他地方に於けると同じくアマの呼稱なり、而して特用植物として栽培せらる、アマの種子なるにより供給充分なるが如し。
- 蒺藜 *Tribulus terrestris* L. ハマビシ科

ハマビシの果實を強壯薬として使用す、北支より蒙疆にかけて普通なる一年生雜草なるにより供給充分にして經濟的價値少し。

鳳眼 *Ailanthus altissima* Swingle ニガキ科

北支の日陰樹の一なみニハウルシの種子を利尿藥として煎用す。
若し藥用確實なれば樹幹の利用と併せ將來有望なるものと推定せらる。

遠志 *Polygala tenuifolia* Wild ニメハギ科

山東に於てはイトヒメハギの根を祛痰藥として煎用す、張店、泰安に至る一帶、張店濟南間以北各地に多量に產し章邱縣も青島に於て市販せるはノウゼンカヅラ科のハナゴマ (*Incarvillea sinensis* Lam.) の全草なり、何れが去風に適當なるや

「ゼネガ」根の代用藥として賞用され日獨戰役前述は青島港經山年數萬元獨逸向輸出せられたりと云ふ。

透骨草 *Speranskia tuberculata* Baillon タカトウダイ科

濟寧及鄒縣に於ては北支より山東に多きダイダイグサ (*Speranskia tuberculata* Baillon) の全草を呼稱し去風に煎用するも青島に於て市販せるはノウゼンカヅラ科のハナゴマ (*Incarvillea sinensis* Lam.) の全草なり、何れが去風に適當なるやは決定を見るに至らず。

酸棗 *Zizyphus vulgaris* Lam. var. *Spinosa* Bge. ユメモドキ科

北支滿蒙に多きサネブトナツメの種仁を健胃、強壯藥とす、使用量少く省内產にて充分需要を充し居るものゝ如し。

芫花 *Daphne Genkwa* Sieb. Z. デンテウグ科

山東より中支に多きワデウツギの花を利尿、祛痰藥として僅かに使用するに過ぎざるも將來纖維植物として研究の餘地あるものと想量せらる。

五加皮 *Acanthopanax spinosum* Miq. ウコギ科

ウコギの根皮を強壯藥とし、又五加皮酒の加味料として使用す。

蘭山及泰山山脈には野生し、沂水縣城西北の東里店子附近產のもの優秀品とせらる、同地の年產約一千斤なりと云ふ。

防風 *Siler divaricatum* B. et H. セリ科

ボウフウの根を發汗、祛痰藥として多量に使用す。

比較的濕氣多き崂山には野生多く現在省内の需要は充分充し居るものゝ如し。

茴香 *Foeniculum vulgare* Miller セリ科

地中海沿岸の原產なるも現今廣く栽培せられ種子を健胃、祛痰藥として使用す、濟寧の藥棧にて近郊よりの出荷を見たり恐らく省内の需要量を充たす程度の產額あるものゝ如し。

蛇床子 *Cnidium monnieri* L. セリ科

ボウフウの根を發汗、祛痰藥として多量に使用す。

比較的濕氣多き崂山には野生多く現在省内の需要は充分充し居るものゝ如し。

何首烏 *Cynanchum Wilfordii* Hemsl. ガガイモ科

泰山及鄒縣に於てコイケヤ (*Cynanchum Wilfordii* Hemsl.) の地下肥大部を何首烏と稱し強壯藥とす、山東省に於ては

云ふべき程の産額、使用量無く、經濟的價値少し。

54. 莓絲子 *Cuscuta chinensis* Lam. ヒルガホ科

マメダフシの種子を強壯薬として使用す、ネナシカヅラと共に北支に多き寄生植物なるも一般的需要は少きが如し。

紫草 *Lithospermum officinale* L. ムラサキ科

ムラサキは根の外皮に紫色多く古來染料又は薬用とす、山東に於ては強壯薬として用ひらる。泰山等には野生するも生

れり。

コラオノツの根の内面に黄色を呈する特色とす、此の根部を煎用解熱、祛瘀藥とす。北支より滿蒙の山野に普通に生育し、省内にも多く生育を見れば充分なる供給量あるもの、如し。

丹參 *Salvia miltiorrhiza* Bge. ツドリコサウ科

タンジンの根の外皮は朱色を呈しよく識別せらる、此の根を補精藥として使用す、北支には普通にして山東にも多く青州のみにて毎年約一千斤採集せらる、山なり。

益母草 *Leonurus sibiricus* L. ツドリコサウ科

メハジキは山東の鐵道沿線に最も普通の雜草にして全草を産後の補精藥として多量に使用す、黃河の流域地帶を始め各縣に產出を見る故その荷動きは遠くに及ばざるも利津縣戈武莊は本品の栽培地として名高し。

60. 澤蘭 *Lycopus lucidus* Turcz. ツドリコサウ科

本邦に於ては菊科のヒヨドリバナを呼稱するも山東に於ては朝鮮と同様シロネを指示す、シロネは到る處の濕地に生育する多年生草本なり、比較的消費量多きも廣く分布生育するを以て省内の供給は充分なるが如し。

61. 夏枯草 *Brunella vulgaris* L. ツドリコサウ科

山野に普通なるウツボグサの花穂を利尿藥として使用す、調査の時期遅く生育状況を明かにし得ざりしも省内の需要量は省内產にて充足され居るもの、如し。

62. 紫蘇 *Perilla frutescens* Bril. ツドリコサウ科

シソの葉葉を利尿、祛瘀藥とす、通常農家に栽培するを以て消費量多きも供給充分なり。

63. 洋金花 *Datura alba* Nees ナス科

テウセンアンガホの花にして喘息に用ひらるゝ如し、使用量少きを以て現今野生狀に分布せる材料にて充分需要を充し居れり。

64. 蕃椒 *Capsicum annuum* L. ナス科

トウガラシは青州附近に多量に栽培せられ年七〇一八〇貨車移出せられ全部朝鮮に向けられたるも近年幾分減少せる由なり。

65. 蓼寄奴 *Siphonostegia chinensis* Benth. ゴマノハクサ科

山東市販の劉寄奴はヒキヨモギ (*Siphonostegia chinensis* Benth.) の全草を呼稱し利尿薬として應用す、崂山等の南向の排水佳良の溝地には生育するを見たるもその產額少しが如し。

車前子 *Plantago asiatica* Nakai オホバコ科

廣く分布するオホバコの種子を利尿薬とす、使用量、生産量ともに少し。

金銀花 *Lonicera japonica* Thunb. ベニカヅラ科

ベニカヅラは崂山にて冬期寒氣より保護せらるゝ谷間に生育するも一般には稀なり、されど使用量多く且山東の特產として多産するを見れば泰山山脈の南側等に野生するか又は濟寧を経て南より供給せらるゝかと考察せらる。

括葉 *Trichosanthes kirilowii* Max. ウツボ科

山東に於てはテウセンカラスウリ (*Trichosanthes kirilowii* Max.) の根を切斷乾燥せるを天花粉と稱し濕疹に散布し果實は肺病に使用す、肥沃なる所には所々に野生し特に濟南附近に多産し山東の主なる資源の一をなせり。

桔梗 *Platycodon grandiflorum* Dc. キキョウ科

キキョウの根を祛痰薬に使用す、山野に多く野生するを以て現在の消費量は省内產を以て充分需要を充たし居れり。

沙參 *Adenophora* Sp. キキョウ科

ツリガネニンジン類の根を利用する、特に根部人參狀に分枝せるを以て人參の代用として補精に使用せられ泰山等にて非常に高價に取扱はる。一般には祛痰薬として使用せられその使用量多く且高價なるを以て萊陽縣を中心として栽培せられ牛島部三港の輸出藥材中の大宗たり。

芥耳子 *Xanthium spinosum* C. キク科

オナモミの果實は發汗藥として使用せらるゝ、生育良好なる雜草なれば供給充分なるが如し。

稀叢草 *Siegesbeckia orientalis* L. キク科

肥沃なる畠地の普通雜草たるメナモミの全草を去風藥として使用するも使用量極めて少なし。

旋覆花 *Inula japonica* Thunb. キク科

北支より滿洲に亘る稍々濕潤なる土地に普通なるラグスマの花にして健胃、祛痰薬に使用す。

芥朮 *Arctylytis orata* Thunb. キク科

オケラの根部にして健胃藥として使用せらるゝ、省内產のみならず雲南の白朮又は浙江省於潛縣の於北等も移入利用せらる。

青蒿 *Artemisia scoparia* W. et K. キク科

北支より滿蒙に多きハマヨモギ (*Artemisia scoparia* W. et K.) の草葉を青島にて利尿、驅虫薬に使用せり。

築艾 *Artemisia lavandulifolia* Dc. キク科

青島市販の築艾は北支より滿洲に多きケセウヨモギ (*Artemisia lavandulifolia* Dc.) の全草を止血、解熱藥等に使用せらる。

紫苑 *Aster tataricus* L. キク科

普通に栽培せらるゝシランの根を鎮咳、祛痰薬として使用す、使用量至つて少く問題とならざるが如し。

白菊花 *Chrysanthemum sinense* Sab. キク科

普通に栽培せらるゝ小菊を散風、洗眼に薦用す。

天津には山東貨の菊花切りの量移出されるとのことにして多産するものゝ如し。

P. 生産状況

药材の生産量に就きては各省とも充分に信を置き得るものなし、一般に知らるゝ如く药材の取引は他の商品と異り薬市又は各地の薬棧と各地に於ける薬行との間に於て個別に行はれ、同一地域にある薬棧と雖も自らの取扱へる範囲に限定され當該地域の出産量に對してもその推定は區々なり。

山東全省の産量を知る資料としては中國通郵誌と濟南商工會議所に於て山東省農村生産改進月刊（民國二四年）、山東農村概況（民國一九年）の數字を濟南國藥業公會の意見を聞き少しく訂正したるものとの二あり、兩者多少の相違あるも暫くそのまま記す。（通郵誌の分は昭和十五年六月興華院調査月報に記載しあれば之を省く）

1. 山東省药材生産量

（濟南日本商工會議所調）

品名	生産量(市斤)	产地
桔梗	二四〇、〇〇〇	濰縣、城陽、章邱
牛蒡	七六〇、〇〇〇	淄川、博山、長山
夏草	五〇、〇〇〇	青州
胡蘿蔔	六〇、〇〇〇	滕縣、魯南地區
金銀花	三〇、〇〇〇	費縣、蒙陰、泰安
芍藥	六〇〇、〇〇〇	蒙陰、沂水
附子	五〇、〇〇〇	濟南、微山湖
山楂	二〇〇、〇〇〇	汶河地區
桔梗	八〇、〇〇〇	魯東地區
牛蒡	三五〇、〇〇〇	魯北地區
夏草	三〇〇、〇〇〇	低濕地區
胡蘿蔔	一〇〇、〇〇〇	山岳地區
金銀花	五〇、〇〇〇	魯東地區
芍藥	二〇、〇〇〇	芝罘地區
附子	六〇、〇〇〇	魯西及南山地區
山楂	八〇、〇〇〇	小清河地區
全	五〇、〇〇〇	全
泰安、櫛縣	全	全
魯西地區	全	全
兗州、曹州	全	全
沂水、蒙陰	全	全
山岳地區	全	全
新泰、蒙陰	全	全
魯東地區	全	全
曹州	全	全

芍藥 車前子 前胡 薑子 丹参 茯苓 菊花 紫草 薄荷 荆芥 丹皮 天麻 益母草 蕺菜 瓜子 老薑 薑子
車前子 骨粉 前皮 奴子 苦英 草子 餅子 艾子 參子 草子 芥子 荷子 志子 參子

八〇、〇〇〇	魯東地區
三五〇、〇〇〇	魯北地區
三〇〇、〇〇〇	低濕地區
一〇〇、〇〇〇	山岳地區
五〇、〇〇〇	魯東地區
二〇、〇〇〇	芝罘地區
六〇、〇〇〇	魯西及南山地區
八〇、〇〇〇	小清河地區
五〇、〇〇〇	全
泰安、櫛縣	全
魯西地區	全
兗州、曹州	全
沂水、蒙陰	全
山岳地區	全
新泰、蒙陰	全
魯東地區	全
曹州	全

全	蒙陰、山岳地區
阿	四〇、〇〇〇
石	一〇〇、〇〇〇
青	四〇、〇〇〇
粉	全

蒙陰、山岳地區	東阿
博山地區	全

(註) 生産數量に就きて

各药材の生産數量に就きては海關稅率表中に稅番ある药材及杏仁等を除きては一而も之らも輸出數量以外は一概に正確なる數字を得ること能はず。

即ち藥草の採取は藥商の需要に應じて藥棧、藥商との相對の取引關係に於てなされ、且その量は野生せる數量の内幾分の一にすぎざるもの、如く價格の關係にてより多く集荷し得べしとは各地藥棧に於ける業者の言なり。

現在迄に發表される省内生産量は何れの分と雖も正確ならざること勿論にして、藥草の殆んど凡てが野生のため實地踏査をなすとも勿論究め得ること困難にして且つ無益たるべし。

今回の調査に踏査したる各集散地にて各地に於ける生産種類、數量を藥棧、藥業公會等に就き訊取せる結果を左に記す、中には右の省内生産總量を上廻るもの勿論あるも暫くそのまゝとす。

2. 膠濟、津浦沿線、半島部各地生産量

(1) 青州(益都驛)	七五噸
杏仁	桃仁
杏仁	四五噸

山 楂	三〇萬斤
其他牛夏、牙皂、槐實、丹參、益母草、遠志	

(2) 泰安縣

柴胡、山楂片、葛根、瞿麥、扁蓄、遠志、桔梗、草烏、丹參、沙參、苦參、透骨草、蒲公英、益母草、瓜萎、車前子、地榆、
皂角、香附子、白果

產量二千斤以上

二千斤以下

黃芩、金銀花

一千斤以下

何首烏、蒼朮、防風

山楂片

牙皂

杏仁

葛根

菊花

柴胡

薄荷

(3) 鄄縣	三〇、〇〇〇斤
山楂片	一八、〇〇〇斤
	三〇、〇〇〇斤
	三〇、〇〇〇斤
事變前ハ上海向ケ現在天津向ケ	五、〇〇〇斤
濟寧向ケ	二、〇〇〇斤
事變前ハ濟寧、現在ハ天津向ケ	二、〇〇〇斤

果、澤蘭、白扁豆、丁香、芫花、草烏、射干

(7) 威海衛地方（中國實業誌民國二三年による）

沙参	一〇五担	苦参	五〇担
荆芥	五〇担	桔梗	二〇担
黃芩	五〇担	防風	五担

(8) 龍口地方（龍口國藥公會調）

（黃縣、招遠縣、蓬萊縣）

產量一千斤見當

桑白皮、益母草、桔梗、丹參、半夏、扁蓄、瞿麥、鳳眼、劉寄奴、蛤蟆草、遠志、括蔴、天花粉、側柏葉、蒼朮、黃精

附 採集に就て

生藥中地下草又は地中部分を利用するものには遠志、丹參、柴胡等調査全植物の三分之一を包括す、而して此等自然品の採集に對しては特に注意を喚起せざる可らざる點あり。現今支那の充山は廣東より北支に及び之を綠化するは目下の急務なり、僅かの資源利得を以て満足すべき時期に非ず、一本一草と雖も保護の必要あり、從ひて根部利用の山地性藥用植物に對しては特に保護の要あり、需要あらば此等は栽培するを原則とし野生品の採集は之を禁止するの要を今回の踏査に當り痛感せり。

四、藥材の集散狀況

藥材の集散狀況に就て見るに、山東に於ては藥材専門の採取業者即ち「株採」は少きが如し。多くは農家が農事の合ひ間に附近より蒐集したるものを一定の時日、一定の場所に毎年開催さる市或ひは縣城の藥棧に携行、賣却なる經路をとる。普通の農作物、日用品にありては各地方に月六回位開かる、大集、小集にて集散さるゝを常とするも藥材は特殊なる商品なれば別に開かるる藥市（藥集或ひは藥會とも云ふ）に持込み賣却され、藥棧藥商は之に赴きて購入す。又濟南、濟寧、芝罘等藥材の多量に集散さる所にては藥棧各數軒あるもその他の地方にては藥行にて藥棧を兼ねる者多し、或ひは又青州、鄒縣等に於ける山杏片、杏仁、桃仁、皂角等の如きは藥棧の手を離れ貨棧に於て取扱はる。

A. 藥市

1. 河北省冀州

北支に於ける最大の藥市にして當地の戸口の大部分は藥材商、製藥商にして廣幫、雲貴幫、浙寧幫、懷幫（河南懷慶）、彰幫（河南彰德）、禹州幫（河南禹州）、亳州幫（安徽）、京通幫（北京、天津、通州）、山西幫、關東幫（滿洲、朝鮮、蒙古）、川幫、陝幫、山東幫の全十三幫はこゝに支店或ひは代理店を常置し、數百年前より春會（舊四月八日至五月八日）、冬會（舊十月十五日至十一月十五日）の二回藥市開催さるゝも正確には春期正月より夏に至る五ヶ月間、夏六月より十二月末に至る七ヶ月間、即ち一年間藥材は交易され居り、事變前、年平均移入三千二百萬元、移出二千三百萬元と云へり。

事變發生以來開催を見ざりしに昨年十月十五日秋季廟會より復活されたるも未だ事變前の狀況に復せず。

山東省よりは事變前、年平均約七〇萬元移入、山東省へは約一六〇萬元の移出を見たりと云ふ。

2. 济南布药突泉
省内に於ける最大の薬市にして舊二月二十日より十五日間、南關三和街、券門巷、全勝街、精忠街、鳳凰街一帶にて開かれ附近の農民の集めたる薬材は殆んどこの薬市にて集散せられ約八百乃至一千の人集ると云ふ。
3. 諸城縣白狼山
自二月十五日至三月十五日
4. 其他地方
自十月十五日至十一月十五日

- イ、鄒平縣黃山
四月七、八、九の三日間
- II、曲阜
清明節三日間
- ハ、滕縣
王蘆（三日間）
西關外（二日）。

B. 藥棧

1. 濟南

永興棧、廣復棧等六軒の薬棧あり、年約七〇一八〇萬元の取引額ありと云ふ、取扱薬材總額の約三分之一が山東産なりと云へり。

2. 濟寧

王蘆（三日間）
西關外（二日）。

B. 藥棧

1. 濟南

濟寧城門外小廟口、大運河の河沿ひに同豫公、鎮記等十六軒の薬棧軒並にならび居り、濟寧はこの附近に於ける最大の特產集散地なるため薬棧にも可成りの集荷を見たり。

3. 芝罘

同豫公の山東省公署實業部への届出は年取引額八萬五千元とありたればこの地の取引額合計百萬元を越ゆると見えたり。

杏仁、桃仁は殆んど益源成一軒

その他は義聚祥、永豐隆の二軒にて取扱はる。

C. 需給關係

集散狀況の項初に於て見たる如く薬材の取引の特異なるため、及び事變によりて取引經路の變更ありたるため需給關係に就て考察すること可成り困難なるも、事變前兗州藥市には山東省産のものは地場消費を除きては大部分この藥市に移入され他省產藥材の山東省に向けらるるものも一應この市場を經由せりとのことなれば兗州に於ける對山東省移出入の數字は勿論正確には非ざらんも以て大體の傾向を知り得べし。

即ち河北省公署祕書處情報室編製（民國二十九年十月十五日刊）安國縣藥王廟事蹟によれば安國への山東省よりの移入は年平均一、二三七千斤、七〇一、八〇〇元、山東省への移出は二、八二三千斤、一、六〇七、二〇〇元にして山東省よりの移出は斤量、金額ともに移出入總額の三〇%に當る、省内各地薬棧、藥商に於ける調査にて取扱總額の三分之一乃至四分之一が山東産との報告と大體に於て一致し居れり、今山東よりの移入藥材として舉げられ居るを見れば左の如し。

藥材名
金銀花

斤量
三〇〇,〇〇〇斤

金額
二四〇,〇〇〇元

藥材名
白瓜沙百前下青半夏附子片仁頭胡角參部蔓

斤量
一〇,〇〇〇

金額
二五〇,〇〇〇元
二三〇,〇〇〇元
二四〇,〇〇〇元
二五〇,〇〇〇元
二四〇,〇〇〇元
二三〇,〇〇〇元
二二〇,〇〇〇元
二一〇,〇〇〇元
二〇〇,〇〇〇元
一九〇,〇〇〇元
一八〇,〇〇〇元
一七〇,〇〇〇元
一六〇,〇〇〇元
一五〇,〇〇〇元
一四〇,〇〇〇元
一三〇,〇〇〇元
一二〇,〇〇〇元
一一〇,〇〇〇元
一〇〇,〇〇〇元
九〇,〇〇〇元
八〇,〇〇〇元
七〇,〇〇〇元
六〇,〇〇〇元
五〇,〇〇〇元
四〇,〇〇〇元
三〇,〇〇〇元
二〇,〇〇〇元
一〇,〇〇〇元
五,〇〇〇元
三,〇〇〇元
六,〇〇〇元
八,〇〇〇元
一,〇,〇〇〇元
七〇一,八〇〇元

地全海蟲坤蟲龍蟲阜禾布禾蟲雙蟲海蝶娟計

斤量
二〇,〇〇〇一〇,〇〇〇五,〇〇〇三,〇〇〇五,〇〇〇一〇,〇〇〇一〇,〇〇〇一〇,〇〇〇一〇,〇〇〇一〇,〇〇〇八,〇〇〇七〇,〇〇〇六〇,〇〇〇三,〇〇〇一〇,〇〇〇

金額
八,〇〇〇七〇,〇〇〇一,〇〇〇三,〇〇〇六〇,〇〇〇三,〇〇〇一〇,〇〇〇八,〇〇〇

地龍以下の動物性藥材等を含めども大體右記のものは山東の特產として云はれ居り、全く河北省公署秘書處情報室編成

(民國二十九年十二月三十日)の安國藥業調查書中の二十九年冬期廟會期間安國藥材調查表に

優品として山東産の百部、半夏、細辛、丹皮、白芍、蒲黃、蘿黃、海金砂、蛇床子、金銀花(藤縣)、山慈姑(濟寧)、白蘚皮、白斂、石葦、蓼實、女貞子、楮實、菟絲子、蕷枝核(濟南)、菟絲子、

普通品として山東産の桔梗、白前、香附、紫花地丁(濟寧)、皂角、生薑、石決明(烟台)、桑蠅蛸(濟南)、前胡(膠州)、蕷夷

山楂(青州、泰安)、紫草、甘菊花(濟寧)を擧げ居れり。

安國より山東への移出には

當歸、大黃、珠砂、海南沉、砂頭玉、川芎、澤夕、皮革、檳榔、川貝、黃連、甲片、寸冬、川朴、青皮、人參、廣木香、邊桂等々六九種、二、八三二千斤、一、六〇七、二〇〇元の他省産なるもその中に丹參八萬斤、杏仁一五萬斤、桃仁五萬斤等あるを見るは甚だ理解し難きも先に云へる藥材取引の特殊性より來れるものと思はる。

D 山東各港輸移出統計表

上青島港輸移出藥材、杏仁統計表(海關)

昭和九年		藥材		輸出	
		杏仁	藥材	杏仁	輸出
合計		四、三〇九キンタル	一六八、九四八元	二三〇、八八九元	一六八、九四八元
輸出		一、〇八二 全	三八九、八三七元	三八九、八三七元	一八三、一三四元
移出		五、四九一 全	五六、〇八七元	一一一、五七六元	一一一、五七六元
合計		四、四五八キンタル	二三九、二二一元	二二七、五四五元	二二七、五四五元
輸出		四、二二一 全	一六三、六八二元	二一、〇一〇元	二一、〇一〇元
移出		四、八七九 全	一八四、六九一元	七二、九二〇元	八四、六二五元
合計		八四、六二五元	一五七、五四五元	一一一、五七六元	一一一、五七六元
輸出		七二、九二〇元	一五七、五四五元	二三九、二二一元	二三九、二二一元
移出		一八四、六九一元	八四、六二五元	二一、〇一〇元	二一、〇一〇元
合計		一五七、五四五元	一一一、五七六元	二二七、五四五元	二二七、五四五元
輸出		一一一、五七六元	二二七、五四五元	二三九、二二一元	二三九、二二一元
移出		二二七、五四五元	二二七、五四五元	二三九、二二一元	二三九、二二一元
合計		二二七、五四五元	二二七、五四五元	二三九、二二一元	二三九、二二一元

2. 山東省四港輸移出藥材、杏仁統計表(海關)
註、移出は青島のみ、他港の分不明につき省く

昭和十二年		藥材		輸出	
		杏仁	輸出	移出	合計
合計		六、四三九キンタル	一、二〇九 全	七、五四八 全	七、五四八 全
輸出	(青島)	二四一、九四八元	四九、四九二元	二九一、四四〇元	二九一、四四〇元
移出	(芝罘)	五四、七八五元	五四、七八五元	五四、七八五元	五四、七八五元
合計	(龍口)	一四、一六六元	一四、一六六元	一四、一六六元	一四、一六六元
輸出	(威海衛)	二九、八三二元	二九、八三二元	二九、八三二元	二九、八三二元
移出	(青島)	一八〇、五四六元	二五、一七二元	二五、一七二元	二五、一七二元
合計	(青島)	七七、一八三元	七七、一八三元	七七、一八三元	七七、一八三元
輸出	(青島)	一、六五九キンタル	一、六五九キンタル	一、六五九キンタル	一、六五九キンタル
全	(芝罘)	一、〇三三 全	一、〇三三 全	一、〇三三 全	一、〇三三 全
全	(龍口)	一一五 全	一一五 全	一一五 全	一一五 全
全	(威海衛)	一六 全	一六 全	一六 全	一六 全
合計	(青島)	六四〇 全	六四〇 全	六四〇 全	六四〇 全

昭和十二年

藥材

輸出	(青島)	八、八一六元
(芝罘)	一一四、四九三元	
(龍口)	二、四四九元	
(威海衛)	三、九一〇元	
合計	一二九、六六八元	
移出	九八、三八八元	
(青島)		
輸出	(青島)	一五、三五〇元
(芝罘)	一、五五一全	六三、二四八元
(龍口)	一〇八全	五、二二四元
(威海衛)	五一全	一、五二一元
合計	二、〇九四全	八五、三三三元
輸出	(青島)	七三、五七〇元
(芝罘)	二三三、八六七元	五六、一二一元
(龍口)	四、九一七元	一、九六五元
(威海衛)	二八六、八七〇元	二八六、八七〇元
合計	一、五四〇全	三八四キントル

(48)

昭和十四年

藥材

輸出	(青島)	三三七、一七八元
輸出	(青島)	一二三、七五七元
輸出	(芝罘)	二一、八八〇元
輸出	(龍口)	五六、六五三元
輸出	(威海衛)	五三九、四六八元
合計	一、三七七全	四五、七二一元
輸出	○	九七、五四八元
輸出	○	六八、九四三元
輸出	○	五、四六三元
輸出	○	六、四一六元
輸出	○	四、一二六元
輸出	○	八四、九四八元
合計	一〇一、一六六元	一、四二五キントル 一、一五〇キントル

(49)

昭和十五年

藥材

輸出	(青島)	一、三七七元
輸出	(芝罘)	八一四全
輸出	(龍口)	一、一六全
輸出	(威海衛)	一、一六全
合計	一、三七七全	一、三七七元

全	(芝罘)	一五七、七九四元
全	(龍口)	三七、六七二元
全	(威海衛)	四〇元
合計		二九六、六七二元
移出	(青島)	五一〇、〇二三元

杏仁	輸出 (青島)	九四一キンタル	九一、二〇九元
全	(芝罘)	九一、二二三元	四元
全	(龍口)	二六七、二二六元	○
合計	(威海衛)	九四一キンタル	○
移出	(青島)	二、〇五一全	

註、昭和十五年、半島部三港の薬材、杏仁移出額(海關調)不明につき省く、

3. 昭和十五年半島部三港移出藥材統計表

(1) 芝罘	(一月ノミ)		
沙參	五、七九九斤	六、六四一元〇〇	上海
黃芩	一、三四二	四七三・四〇	上海
反背草	三、四七〇	二七七、六〇	上海

丹 參 三一〇 一八四・一〇

其 他 細辛、牛夏、遠志、芥末、葛荊子等

註 航業總公署芝罘支部に於て移出許可申請書を調查したるに遺憾ながら二月以降を見ることあたはざりしも輸移

出品中の大宗は沙參にして其他は右記の各品たること大體の傾向を知り得べし。

(2) 威海衛 (一月―十月)

沙 參	三、二三九斤	三六、三八三元九七	上海
杏 仁	三、〇四五	二、〇六一・〇〇	上海
蒼 杖	一、六五〇	二五三・四〇	上海
葛荊子	一四、四五〇	四、一〇六・七〇	上海
全	四、三〇七	一、二〇六・〇〇	芝罘

註 威海衛背後地より陸路經山のみならず、海路金家口、石島より多少の沙參の入荷あり、
調査時期十月末なりしため航業總公署威海衛辦事所に於ける移出許可申請書の十一月以降を調查し得ざりしも
右記が威海衛附近出產の大宗なるべし。

(3) 龍口

沙 參	一一、四七八斤	一一、二八四元二〇
杏 仁	一九、六六五	一六、三五八・八四
全	一〇、一六八	六、六二一・九〇

註 同じく航業總公署龍口辦事所に於ける一月以降十月迄の移出許可申請書の調査によるも右の二品以外は云ふべ

きもの無し

むすび

(1) 山東産にして輸移出し得るものは杏仁、桃仁、山杏片、沙參、金銀花、等にして中南支より輸入する植物數を比支は十分之一に過ぎず。

山東は他の北支諸省と同じく古くより開け人口稠密にして土地廣く耕作せられ居るを以て現在は生薬の生産地たるよりは寧ろ消費地の觀あり。

(2) 然れども三方海に接し山塊(泰山、嶺山等)及湖沼(東平、蜀山、微山)あり、且黃河(淮河)を以て北支の内に於ては多數の植物よく繁茂する地方たり、從ひて將來生育可能の藥草を保護栽培奨励するに於てはその生産を急速に増加し得ることは疑ひ得ざるところなり。

(3) 中支の氣候は稍々本邦の中部以南と同一なるを以て多數生産せる浙江、四川の生薬は本邦に於ても充分之を考究し北支と貿易關係を圖ることも亦重要なりと信ず。

(4) 山東の秃山の綠化又は半禿山の禿化の防止策として藥用植物中、根部利用の多年生のものを將來栽培を奨励し、自然品の採集は之を禁止するを原則とするの要あり。

(5) 山東に於ては本邦にて殆んど利用せざる浮萍草、荷葉、荷梗、澤瀉等の水濕地植物を利用す、之等は畑作物を主食とするに伴ふ特殊成分の不足を補ふにあるが如し。

